

IWAMATSU RYO

岩松了

「劇作家」に会う

劇作塾

in HARENOWA

18歳以上35歳くらいまでの、劇作家を目指す方
劇作家としてステップアップを望む方を対象とした連続講座



講師：岩松了 (劇作家、演出家、俳優)

サポートアーティスト：角ひろみ
(劇作家、演出家)

日程：2024年6月～2025年1月〈全5回〉

会場：岡山芸術創造劇場 ハレノワ

[〒700-0822 岡山市北区表町3丁目11-50]

講座日時・会場

- | | | | |
|-----|----------|-------------|---------|
| 第1回 | 6月8日(土) | 13:30～16:30 | [第5練習室] |
| 第2回 | 7月6日(土) | 13:30～16:30 | [第5練習室] |
| 第3回 | 11月中旬頃 | 13:30～15:00 | [オンライン] |
| 第4回 | 12月7日(土) | 13:30～16:30 | [第5練習室] |
| 第5回 | 1月予定 | 13:30～16:30 | [第4練習室] |

*書き上げた作品は、第5回講座で読み合わせ予定です

募集概要

募集期間：2024年4月20日(土)～5月31日(金) 必着

定員：5名程度 ※応募者多数の場合は選考

対象：18歳以上、35歳くらいまで

受講料：8,000円(税込)

応募方法：

ホームページから「申込用紙」をダウンロード
して「応募課題」とあわせて申込み先に提出し
てください

応募課題：

「お金」「別れ」「夏」

※A4用紙・縦書きで1枚に800～1,600字まで

※400字詰め原稿用紙に換算して50枚程度を上限

※日本語で書かれた未発表のオリジナル作品に限る

▼詳細はこちら



申込み・お問合せ先

岡山芸術創造劇場 「戯曲講座」担当
TEL 086-201-8014 FAX 086-201-8004
MAIL event@okayama-pat.jp

主催：(公財)岡山文化芸術創造 共催：岡山市



Comment

私自身、演劇に関わる中で、劇作家と呼ばれることもあれば演出家と呼ばれることもあり、俳優と呼ばれることもあります。でもその中でどれかひとつ「あなたの職業は？」と聞かれたら「劇作家」と答えます。一番孤独な作業をしていると思うからです。書いている間は誰とも口をきかなかったという日もあります。そしてそのことをどこかで自慢したい自分がいます。その自慢の裏には「いつか誰かと口がきける」という希望が隠れています。その「誰か」もたぶん誰とも口をきかなかった日を経験しているにちがいないと思うから、希望は「まず何を話そうか」というワクワク感をともなっているのがわかります。「劇作家」はそんなふうには「劇作家」と出会うのだと思います。岡山のハレノワでの劇作塾も、そんな出会いの場になるでしょう。ワクワクです。

Profile

1952年、長崎県生まれ。86年、東京乾電池「町内シリーズ三部作」を皮切りに作・演出を手掛け、89年『蒲団と達磨』で岸田國士戯曲賞を受賞。以後、数多くの作品を世に送り出す。93年『こわれゆく男』『鳩を飼う姉妹』で紀伊國屋演劇賞個人賞、98年『テレビ・デイズ』で読売文学賞を受賞。俳優としてもテレビドラマ、映画、舞台上に多数出演。M&O playsプロデュース「峠の我が家」12月8日(日)岡山芸術創造劇場にて上演(作・演出・出演)。